

【ふるさとの桜】

今年度、小学校と施設を共有する小中一貫教育推進校として新たなスタートの年となりましたが、中学校としては創立40周年の節目の年でもあります。本校はグラウンドのフェンスのすぐ外側に桜の木が何本もあって、春になるとすばらしい景色を見ることができるのですが、正門からは遠く、入学式の写真に桜の花が映りにくいのを残念に思っていました。そこで、40周年記念として、正門横にシダレザクラを植樹します。新しくきれいになった正門と桜の前で、来年4月にピカピカのランドセルを背負った小学1年生と、ちょっと大きめの制服姿の中学1年生が、晴れやかな顔で写真撮影するのだろうと思うと、今からとても楽しみです。



さて、河内長野市では、「ふるさとのつながりによる豊かな学び」を教育目標に掲げており、平成23年度から小学5、6年生と中学1年生で「ふるさと学」を実施しています。郷土や国の伝統・文化について理解を深め、グローバル化する社会で生きる力を育むための学習です。今年度も1年生が3学期に学習します。

また、河内長野ロータリークラブと河内長野市教育委員会主催の「ふるさと作文・川柳コンクール」が毎年開催されており、今年度も本校生徒がロータリー特別賞を受賞しました。受賞作品の文章中で「つばめの学校」にも言及されていて、本校で9年間を過ごす生徒にとっては、「ふるさと」の風景の中にいつも学校があるのだと感じました。学校の中だけではなく、朝学校に向かう道中で見る四季折々の街の様子や、「おはよう」と声をかけてくださる地域の方々とのやりとりも、先日の統合フェスティバルの時のように学校や児童生徒を日々支えてくださっている方々の姿も、そのすべてが生徒の心の中にふるさとの風景として織り込まれていきます。そこに、正門横のシダレザクラも加わって、安らぎとともに華やかさも付け加えてくれることでしょう。

ふるさとといえば、現在、生徒会執行部を中心に、河内長野を広くPRしようという取り組みを進めています。町おこし、社会貢献、リサイクル、環境保護（頭文字をあわせて「ましゃりか」活動と呼んでいます）という現代的な課題とからめて、自分たちのふるさとである河内長野の良さを見直し、街の発展に中学生の自分たちも関わっていこうという取り組みです。活動が形になるにはもうしばらく時間がかかりそうですが、今後の展開に期待しているところです。保護者、地域のみなさまも楽しみにしててください。

校長 上代 婦美子

国際交流学習

1・2年生の国際交流学習がありました。保護者の方も数名参観されていました。普段では交流することのない異文化について楽しげに学習することができました。  
 右：劉麗（りゅうれい）さん【中国】  
 左下：ポルタレス・カルロスさん【チリ】  
 右下：志村 レアンドロさん【ブラジル】



←社会見学に行く小学校3年生の事前学習として、6月に職業体験で消防署へ行った中学2年生が消防署で学んだことを話しに行きました。小中一貫校ならではの取り組みですね。

かわちたまご

旧生徒会執行部が「木根館」とコラボし、河内材でつくられたたまご型の木材をつるに磨いてきれい



にし、世界中のより多くの人に河内長野市のことをの知ってもらおうと「河内長野PR大作戦」を実行中！このたまごを「かわちたまご」としているんなどころにおいてもらったり、反響がよければ商品化したり・・・。夢は無限に膨らみます。磨いてどうするかはこれから検討していきます。

